



すずしろ

～開拓・発展・完成～

4月第2号

開進第四中学校だより
校長 新村 紀昭

平成29年度 開進第四中学校学校経営計画について

新年度が始まり3週間が経ちました。学級の組織もできあがり授業も本格的にスタートしました。昨年度に引き続き以下の目標と計画に基づいて教育活動を進めてまいります。ご理解とご協力をお願いします。

校訓・教育目標 (目指す生徒像)

- ◆学 ぶ : 自ら学ぶ意欲をもち、確かな学力を身に付ける生徒
- ◆働 く : 勤労を尊び、社会に貢献しようとする態度をもつ生徒
- ◆協力する : 互いの個性を認め合い、思いやりのある行動ができる生徒
- ◆鍛 える : 健やかで、たくましい心と体づくりに努める生徒
- ◆共に生きる : 自他の文化を尊重し、国際的な視野をもつ生徒

目指す 学校像

- ◆生徒一人一人が自らのよさを発揮し、意欲的、創造的に活動する学校
- ◆生涯学習の視点に立ち、生徒の関心・意欲を高め、生涯にわたって学び続けるために必要な知識や学び方等を身に付けられる授業が充実している学校
- ◆生徒指導上の課題等に迅速に対応し、教育活動の改善・充実に一致協力して取り組む、組織的な学校
- ◆家庭や地域社会との相互理解や連携・協力体制を築き、学校の役割を積極的に果たして家庭や地域からの信託に応える、開かれた学校

確かな学力の定着

- 授業の構造化によるわかる授業の実施。本時の目標やまとめの明示
- ユニバーサルデザインの教室環境
- 基礎定着を図る週1回以上の小テスト実施。
- テスト前質問教室や補充教室の実施
- 家庭学習の充実。「学びの道しるべ」の充実、適切な宿題の指示
- 検定やコンクール参加の推奨

豊かな心の醸成

- 個々の生徒のよさが発揮できる学級経営。意図的計画的な経営
- 道徳の時間の充実。多面的、多角的な考え方に気づかせる指導の工夫
- いじめ・不登校ゼロを目指した教育相談・個人面談の充実
- いじめ対策委員会による迅速な対応。月1回の調査結果に基づく指導の充実

健康・体力の増進

- 年間を通じた朝の体力づくりの推進
- 年間計画に沿ったオリ・パラ教育の推進と内容の充実
- 様々な状況を想定した避難訓練等の実施
- 部活動指導の充実

キャリア教育の推進

- 学年に応じた体験的な学習活動の充実と体験発表会の実施。福祉体験、職場体験
- 外部講師による生き方指導の充実。(留学生、JICA派遣員、オリパラ教育のアスリート講師等)
- 和室を利用した日本の伝統文化体験学習の実施

平成29年度の重点目標

- 3年間を見通した国語科と数学科の授業改善・交流
- 児童・生徒の発達段階や一貫性を意識した生活指導
- 開四ホール・交流室を活用した交流活動の推進
- 学校行事、部活動体験等の多様な交流

小中一貫教育の推進

教職員の姿

- 教育活動や言動の見直し、人権感覚の向上、体罰等の根絶に向けたコミュニケーション能力や人間関係調整力の向上、サービスの厳正
- アクティブラーニングの視点を取り入れた授業改善、指導力の向上
- 「特別の教科 道徳」の指導と評価に関する研修
- 心身の健康と協力、組織力の向上、OJTの推進

保護者・地域との連携

- 学校・地域連携事業による外部人材の活用、教育活動の充実
- PTA事業への積極的な協力
- 学校公開や各種通信、HPの充実による保護者・地域への積極的な情報発信と情報収集
- 奉仕活動や地域行事等への積極的な参加、防災訓練等の共同実施

新年度 代表生徒の言葉

4月6日（月）の始業式で、各学年の代表生徒が新年度の抱負を述べました。3年生は最上級生として、2年生は中堅学年として、それぞれの責任をしっかりと果たそうとする決意と抱負が表現されています。この気持ちを1年間忘れずに、充実した学校生活にしていきたいでしょう。

3年B組 板倉香々葉

いよいよ開四中生活最後の年になりました。また、最高学年でもある3年生です。2年間を終えて、充実していた点や反省すべき点など、振り返れば考えさせられることが多々ありますが、中学生として生活できるのは今年だけです。私自身の目標としては、中学校生活でがんばってきたことの成果を発揮する年と位置付け、今まで以上に自分に厳しく、努力し、結果を追求していきたいです。

具体的に言うと、一点目は学校行事についてです。私は毎年3年生の大ムカデ競走や合唱コンクール等に対する姿勢がとてもすてきで、感動をもらっていました。今年は自分たちが下級生に感動を与えられるように、一生懸命取り組みたいです。二点目は部活動についてです。最後の大会で悔いのない結果が残せるように、最後まで全力で取り組みたいです。そして、年が明ければいよいよ高校受験です。目標としている高校に通えるように、計画的に勉強を進めます。

学校生活では、最上級生として、今まで以上に下級生の模範となる行動をとれるように常日頃から心がけ、ここにいる全員が中学校で学んだことを誇りに思えるような、充実した一年間を過ごしたいと思います。



2年B組 白井そら

私は一年間の色々な経験の中でよく笑い、失敗もして成長できました。一年前の入学式の日、緊張と不安でいっぱいでした。大きな制服や小学校とは違う教室の雰囲気、初めは慣れないこともありました。勉強では算数が数学になるなど、とても難しくなり、覚えることも増えて追いつこうと必死でした。しかし、先生方の授業は分かりやすく、時にはおもしろく、あまり挙げられなかった手も挙げるできるようになりました。

小学校と違うな、と感じたことがあります。一年を通して運動会や臨海学校など色々な行事がありましたが、その行事の準備に生徒が多くかかわることです。小学校では先生方が考えて準備してくださり、それをがんばりましたが、中学校では企画から実行委員が考え、必要なものを作り準備することに驚きました。大変な分やりがいもあり友達とのつながりも深まり、一つ一つの行事への思いが強くなりました。そしてその達成感小学校では得られないものでした。私が特に心に残っているのは合唱コンクールです。各クラスそれぞれ曲を決めて、朝練に取り組みました。私はピアノ伴奏を担当していたので、家でもみんなが歌いやすいように弾こうとたくさん練習しました。みんな一丸となり、大成功でした。

そして、今日から新二年生です。私はがんばりたいことが二つあります。一つは新1年生のよき先輩になることです。部活や委員会では私たちを見てすごいな、次がんばろうと思ってくれるように、私たちが強い気持ちで引っ張っていきます。また、登校中には後輩

が安心して学校生活を送れるように積極的にあいさつをします。二つには、勉強です。1年生の時よりも難しくなると思いますが、定期テストだけでなく、朝授業、スペリングコンテスト等のテストにしっかり取り組むために、家庭学習の量を増やしたいです。そして、次につなげていけるように努力します。

新入生 誓いの言葉

新入生代表 多田あさひ

あたたかな春の訪れと共に、私たち新入生132名は開進第四中学校の入学式を迎えることができました。本日はこのような立派な入学式を行ってくださり、ありがとうございます。

私は開進第四小学校でたくさんの事を学びました。その一つは「仲間がいることに感謝すること」です。私は6年間でたくさんの仲間たちに力を借りて、様々なことをやりとげてきました。去年私がリーダーとして取り組

んだ「長縄で開進第四小学校記録を出す」という目標を達成できたのも、「クラスメート」という仲間がいたからだと思います。中学校ではより人との関わりを大切にして、勉強やスポーツ、運動会などの学校行事にも、真剣に取り組んでいきたいです。そのために、まずは自分から積極的に物事を進めていこうと思います。そして先生方、来賓の皆様、上級生のみなさん、温かいお言葉ありがとうございました。3年間、この開進第四中学校で、たくさんの思い出を作っていきたいと思います。



クラス発表・登校風景



入場の様子



校長式辞



歓迎の言葉



式場全体



退場の様子

学校だより題名の由来

この学校だよりは校章にちなみ「すずしろ」としました。校章の由来ですが、すずしろ（大根）の花は十字花科で大地に深く根を下ろし、四方に開くことから「開四」を表し、同時に「開拓・発展・完成」を象徴して定められたということです。生徒には校章のように大地を踏みしめ、自分の可能性を四方に広げて育ててほしいと願っています。

また、ホームページには学校生活や学校行事の様子を日々掲載するようにしています。こちらもご覧いただき、評価・ご意見をいただけたら幸甚です。

4月10日（月）対面式 専門委員会&部活動紹介

新1年生に向けて、在校生徒が中心となって歓迎の意を表す行事が対面式です。また、中学校の生徒会・専門委員会活動や部活動の紹介をして、中学校生活のスタートを切ってもらえる機会でもあり、生徒会本部が司会進行を務めるなど、3年生の生徒が中心に全体を進めます。

まず、生徒会・専門委員会の説明では、生徒会長が生徒会の全体組織について説明し、さらに生徒会が中心となって策定した「SNS開四ルール」について話しました。最後には「生徒みんなが気持ちよく中学校生活を送るために必要なルールとして、しっかり守ってほしい」と訴えました。

また、部活動紹介では、各部長が活動内容を説明するとともに、実際の活動の様子や魅力を知ってもらうために、アトラクションや作品の紹介などを行い、1年生からは感嘆の声も聞かれました。

後日、各学級で行われた学級組織作り（各係や専門委員選出）では、全てが立候補で決まった学級や、複数の立候補が出て投票をした学級、立候補が出ない係や委員を快く引き受ける生徒がいた学級など、仲間のため学級のために積極的に役割を果たそうとする、校訓「働く」が行動に表れていることを感じ、頼もしく、うれしく思いました。

部活動については、仮入部期間に様々な部で活動する1年生の姿や、1年生を丁寧に指導する上級生の姿が随所に見られます。文化部への仮入部が少ないとも聞いていますが、中学校生活を充実させるためにも積極的に入部して、自分自身の個性を磨き、活躍の場を広げてほしいと思います。



野球部



新体操部



E S S 部

全校朝礼 「原発事故により避難している児童生徒へのいじめの防止について」

文部科学大臣メッセージ

4月17日（月）の朝礼では、横浜市の小学校で福島からの避難児童が名前に「菌」を付けて呼ばれる等、複数の児童からいじめを受け、お金を脅し取られた事件に対する生徒向け文科大臣メッセージを紹介すると同時に、私たちの周りでも「〇〇のくせに」など相手の特徴などをとらえて侮ぶように呼ぶ方や、レッテルを貼って自分より劣る人間と決めつけ、人権を傷つける行為の卑劣さについて話しました。本校では「するを許さず、されるを責めず、いじめに第三者なし」という言葉を使い、いじめ撲滅に向けて指導しています。以下、保護者向けの大変メッセージを掲載いたしますが、ご家庭でもぜひ話し合ってください。また、気になる点は、ぜひご相談ください。

<保護者・地域住民の皆様へ>

子供たちは、親や地域の大人の言動を見ています。被災児童生徒へのいじめの背景の一つには、避難されている方々への誤解や、被災地の状況や放射線に関する理解不足からくる、大人の配慮に欠ける言動があるとも考えられます。まずは、大人である私達が、被災された方々、故郷を離れて生活をされている方々の思いを理解すること、放射線について科学的に理解するとともに、科学的に思考し情報を正しく理解することが必要です。現在でも、PTA関係者をはじめとする保護者、地域住民の方々が、教育委員会・学校と連携して、被災地の状況や放射線に関する理解を深めようとする取組が進められています。引き続き、保護者、地域の方々と教育委員会・学校が連携し、子供たちにおけるいじめをなくす取組を行っていただきますようお願いいたします。